

ご使用に際して、この説明書を必ず読んで下さい。
また、必要な時に読めるよう本剤とともに保存して下さい。

第2類医薬品

64

一元乃錠剤 抑肝散

⚠ 使用上の注意



相談すること

- 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
 - 医師の治療を受けている人。
 - 妊婦又は妊娠していると思われる人。
 - 胃腸の弱い人。
 - 今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
- 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

| 関係部位 | 症 状 |
|------|-----------|
| 皮 膚 | 発疹・発赤、かゆみ |

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

| 症状の名称 | 症 状 |
|-------|--------------------------------------------------------------------|
| 間質性肺炎 | 階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。 |
| 肝機能障害 | 発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。 |
| 心不全 | 動くと息が苦しい、疲れやすい、足がむくむ、急に体重が増えた。 |

- 1ヵ月位（小児夜泣きに服用する場合には1週間位）服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

〔効能・効果〕

体力中等度をめやすとして、神経がたかぶり、怒りやすい、イライラなどがあるものの次の諸症：
神経症、不眠症、小児夜泣き、小児疳症（神経過敏）、歯ぎしり、更年期障害、血の道症^注

〈効能・効果に関連する注意〉

注) 血の道症とは、月経、妊娠、出産、産後、更年期など女性のホルモンの変動に伴って現れる精神不安やいらだちなどの精神神経症状および身体症状のことである。

〔用法・用量〕

食前、又は食間に服用する。

| 年 齢 | 1回量 | 1日服用回数 |
|--------|-----|--------|
| 大人 | 5錠 | 3回 |
| 7～14歳迄 | 4錠 | |
| 5～6歳迄 | 3錠 | |

〈用法・用量に関する注意〉

小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。

〔成分・分量〕一日量(15錠)中

| | | | | | |
|----|--------|---------|----|---------|---------|
| 日局 | ビャクジュツ | 2,000mg | 日局 | サイコ | 1,000mg |
| 日局 | ブクリョウ | 2,000mg | 日局 | カンゾウ | 750mg |
| 日局 | センキュウ | 1,500mg | 日局 | チョウトウコウ | 1,500mg |
| 日局 | トウキ | 1,500mg | | | |

より製した抑肝散水製エキス2,010mgを含有する。

添加物として、乳糖，結晶セルロース，ステアリン酸カルシウムを含有する。

〔保管及び取扱い上の注意〕

- (1)小児の手のとどかない所に保管すること。
- (2)直射日光をさけ，なるべく湿気の少ない，涼しい所に密栓して保管すること。
- (3)誤用をさけ，品質を保持するために，他の容器に入れかえないこと。
- (4)保存の状況が悪いと，場合によっては虫，カビ等がつくことが考えられますので，上記の注意を必ず守って下さい。

本剤は，原料として天然の生薬を用いていますので，製品により多少色が異なったり，開栓後，吸湿により錠剤の色が濃くなる場合がありますが，効果には変わりありません。

〔お問い合わせ先〕

一元製薬株式会社「お客様相談室」

〒171-0043 東京都豊島区要町3-4-10

電話：03-3973-2917

○受付時間：9:00～17:00（土，日，祝祭日を除く）

副作用被害救済制度の問合せ先

（独）医薬品医療機器総合機構

<http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>

電話 0120-149-931



一元製薬株式会社

東京都豊島区要町3-4-10